

第13回国土セイフティネットシンポジウム

開催日時：2014年2月6日(木)13:00~16:50
場所：パシフィコ横浜 アネックスホール I会場+J会場
主催：独立行政法人防災科学技術研究所
特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会(REIC)
後援：東京商工会議所、一般社団法人東北地域づくり協会、
公益財団法人地震予知総合研究振興会
定員200名,参加費無料

1. 総合テーマ

「リアルタイム防災情報の開発動向」

2. プログラム

- (1) 開会の挨拶と趣旨説明 「リスク情報と防災」 13:00~13:10
岡田 義光 防災科学技術研究所 理事長
- (2) 地震、津波情報
- ・ 気象庁における緊急地震速報の信頼性向上に向けた取り組み 13:10~13:35
中村 雅基 気象庁 地震火山部地震津波監視課
地震動予測モデル開発推進官
 - ・ 長周期地震動のリアルタイム予測とその応用 13:35~14:00
座間 信作 横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター
客員教授
 - ・ リアルタイム地震・津波防災情報の将来像 14:00~14:25
青井 真 防災科学技術研究所地震・火山防災研究ユニット
地震・火山観測データセンター長
- (3) リアルタイム気象情報
- ・ マルチパラメータレーダによるゲリラ豪雨の予測 14:25~14:50
眞木 雅之 鹿児島大学 地域防災教育研究センター 特任教授
 - 休憩 - 14:50~15:15
- (4) 一般市民向け情報配信
- ・ 地域住民による防災情報の共有と活用 15:15~15:40
臼田 裕一郎 防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域
災害リスク研究ユニット プロジェクトディレクター
 - ・ 緊急地震速報の新たな利活用への取り組み 15:40~16:00
(コミュニティエフエム、津波避難、安否確認)
大保 直人 リアルタイム地震・防災情報利用協議会 専務理事
- (5) 特別講演 「ビッグデータの防災分野への活用」 16:00~16:45
柴崎 亮介 東京大学 空間情報科学研究センター 教授
- (6) 閉会の挨拶 16:45~16:50
片山 恒雄 リアルタイム地震・防災情報利用協議会 会長

以上